



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22 年度 地区スローガン

活力と輝き

—ロータリーの基本を大切に—

創立	昭和32年4月19日
会長	森川善隆
会長エレクト	平田博也
副会長	米田常彦
幹事	辻田真海
幹事	河村善一
公共イメージ	豊田博樹



事務局 (例会場)

檀原市久米町 652-2 THE KASHIHARA 4F

TEL/0744-28-2801 (直通)

FAX/0744-28-2802

E-mail/krc@jeans.ocn.ne.jp

TEL/0744-28-6636 (ホテル)

例会日

金曜日

12時30分~13時30分

Vol. 65 No. 16 (2021-22)

2022 (令和4)年3月18日発行

3月は、「水と衛生月間」(Water and Sanitation Month)です。

第 3106 回例会報告書

2022 (令和4)年1月7日

司会	副 SAA・安永吉伸会員
R.song	君が代・奉仕の理想
ソング・リーダー	西野光泰会員

ゲ ス ト

米山奨学生 グォン・ティータイン・ヒュオンさん

出席報告

会員 58 名

(1/7) 出席者 37 名 出席率 68.52%

(補正なし)

ニコニコ箱

◎今年度もよろしくお願ひ致します。

……………理事・役員一同

◎おめでとうございます。年賀状出せませんでした。

……………福井良盟会員

◎誕生日お祝い

吉村輝高会員 (9/2) 里田 好会員 (11/14)

辻田真海会員 (1/4) 吉川弘晃会員 (1/12)

島田昌則会員 (1/22)

◎結婚記念日お祝い

吉村輝高会員 (11/18) 仲谷 登会員 (1/17)

◎入会お祝い

吉村輝高会員 (10月入会、4年)

辻田真海会員 (17年) 鶴山 学会員 (1年)

会長挨拶

◎あけましておめでとうございます。皆様におかれましては恙なく新しい年をお迎えになったことと心よりお祝い申し上げます。

◎昨年 10 月に岸田内閣が発足し、新しい旅立ちとなったが、振り返るとコロナに明けてコロナに暮れた 1 年だったように思う。その中で印象に残っていることは東京オリンピック・パラリンピックで、まずは開催できるかどうか、無観客で開催するかなどいろいろな面で賛否両論があったと思うが、その中で、

ある意味強行に開催されたということよりも、選手の方々が一生懸命に競技に打ち込んでいる姿を見て、結果的にはオリンピックを開催して良かったのではないかと思います。また昨年 9 月に緊急事態宣言が解除され、年末の望年親睦家族会には親睦活動委員会ははじめ会員皆様のご協力を頂き、60 名を超える皆様にご参加頂き、とても賑やかで楽しい例会を開催することができ、とても有難いことだと感じている。年末年始はワクチンが功を奏したのか、小康状態を保ち、このまま年が明けて収束に向かうのではないかと思っただが、ここ最近はおミクロン株による感染が増えてきている。今年度はまだあと半年残っているが、安全を第一に考えながら、皆様方とご相談し、ご協力を頂きながら、楽しい例会が開催できるよう進めていきたいと思っている。残り半年間も精一杯頑張ってお参りますので皆様のご協力をよろしくお願い致します。

幹事報告

△1 月誕生日

好川嘉則会員 (1/1) 尾田肇睦会員 (1/26)

辻田真海会員 (1/4) 杉本行彦会員 (1/8)

吉川弘晃会員 (1/12) 関 将之会員 (1/17)

林田一真会員 (1/19) 島田昌則会員 (1/22)

△1 月結婚記念日

仲谷 登会員 (1/17) 上田充希会員 (1/8)

△1 月入会

辻田真海会員 (17年) 鶴山 学会員 (1年)

△馬場益弘ガバナーより公式訪問のお礼状

※詳細は掲示板にて。

△次週 1 月 14 日 (金) は休会。次回の例会は 1 月 21 日 (金) となるので、お間違えのないようよろしくお願いしたい。

△地区より、2024-25 年度地区ガバナーに、奈良 RC の中本 勝氏が決定したとの通知があったのでご報告申し上げます。※詳細は掲示板にて。

△米山記念奨学会より、当クラブが「第 66 回米山功労クラブ」に表彰され、感謝状が届いているのでご報告・ご紹介させて頂く。



△クラブに届いた年賀状を掲示板に貼り出しているの
でご覧顶きたい。

△週明けに「後期会費等納入のお願い」を郵送させて
頂くので、1 月末日までにお振り込み頂くようよろ
しくお願ひしたい。

△例会変更ほか（詳細は掲示板にて。）

- ・大和郡山 RC
3 月 21 日（月）休会 ※ビジター受付なし。
- ・奈良東 RC
①3 月 23 日（水）移動例会 於：JW マリオットホ
テル奈良
②3 月 30 日（水）休会
※いずれもビジター受付なし。
- ・やまと西和 RC
①3 月 22 日（火）休会
②3 月 29 日（火）日程変更→3 月 26 日（土）観桜会
※いずれもビジター受付なし。
- ・奈良大宮 RC
3 月 22 日（火）・27 日（日）休会 ※ビジター受付なし。
※3 月 29 日（火）日程変更→3 月 27 日（日）家族親睦例会
- ・大和高田 RC
3 月 22 日（火）休会 ※ビジター受付なし。
- ・平城京 RC
①3 月 24 日（木）WEB 例会
②3 月 31 日（木）休会
③4 月 7 日（木）家庭親睦例会延期、通常例会に変更
※いずれもビジター受付なし。
- ・奈良 RC
3 月 24 日（木）休会 ※ビジター受付なし。
- ・五條 RC
3 月 23 日・30 日（水）休会 ※ビジター受付なし。
- ・やまとまほろば RC
3 月 24 日（木）・31 日（木）休会 ※ビジター受付なし。
- ・やまとまほろば RC 例会場変更（1 月 27 日（木）～）
変更後：木材振興センター「あるぼ～る」
〒633-0062 桜井市栗殿 355 TEL:0744-45-3955

卓 話

「会長・幹事 新年挨拶」

<森川善隆会長>

今年は寅年ということで、私なりに調べてきたこと
をお話しさせて頂く。私より良くご存知の方が多
いと思うが、お聞き頂ければと思う。

今年の干支は壬寅（みずのえとら）となっている。
ご存知の通り十二支は「子・丑・寅・卯・辰・巳・午・

未・申・酉・戌・亥」で、これ
らと十干（甲・乙・丙・丁・戊・
己・庚・辛・壬・癸）を合わせ
て、壬寅などを表している。

そして「寅」と言えば、私は
真っ先に信貴山を思い浮かべ
た。信貴山のいわれは、今から
1400 年余り前、聖徳太子がこ
の山で毘沙門天王をご感得され、
大変ご利益を頂いたのが寅の年、
寅の日、寅の刻であったといわれており、その故事から、
信貴山の毘沙門さまに寅の縁日にお参りすると、
聖徳太子にあやかって良いご利益を授かるとして昔から
信仰を集めてきたそうだ。また、信貴山にある朝護
孫子寺は、醍醐天皇が病気にかかり、勅命により命蓮
上人が毘沙門天王に病気平癒の祈願をしたところ、天
皇の病気がたちまちにして癒えたといういわれがあり、
そこから「朝護孫子寺」の勅号を賜ったそうだ。また
朝護孫子寺は「信貴山寺」とも呼ばれている。

今回、私なりに調べてみて、いろいろなことには歴史
や奥深さがあると感じた。今年は寅年ということで、
「虎は千里行って千里帰る」という言葉があるが、こ
れは虎は一日に千里を往復できると言われることから、
勢いが盛んな様子を表しているそうだ。今年もまだコ
ロナ禍の中ではあるが、前を向いて着実に物事を進め
ていくスタートラインだと思ひ、寅年であるということ
はタイミングが良いのではないかと思ひ。当クラブ
においても、これにあやかるわけではないが、先程の
会長挨拶でもお話しさせて頂いた通り、安全を第一に、
自己管理をしっかりしながら、また皆様のご協力を頂
きながら、あと半年、楽しい例会が開催できるよう進
めていきたいと思ひている。

つたない話ではあったと思ひますが、これをもってご挨拶
とさせて頂く。ご清聴ありがとうございます。



<河村善一幹事>

今年度も半年間が過ぎ、この
半年間の皆様のご協力に対して
まず感謝申し上げます。ありが
とうございます。今のところ恙
なく半年間が過ぎたと感じてお
り、当初掲げていた「迅速な反
転攻勢」という意味では、手前
味噌ではあるが、他のクラブに
比べて例会の在り方や動き方
については皆様のご協力を頂きながら積極的に進める
ことができたのではないかと感じている。

私は銀行員をしていた頃から日経新聞を読んでおり、
昔ほど中身を詳しくは読んでいないが一面は読むよう
にしている。1 月 1 日の日経新聞に比較的面白い記事
が載っていたのでご紹介させて頂く。

タイトルは「成長の未来図 資本主義、創り直す」。
資本主義が 3 度目の危機にぶつかっている。成長の鈍
化が格差を広げ、人々の不満の高まりが民主主義の土
台まで揺さぶり始めた。戦前の大恐慌期、戦後の冷戦
期と度重なる危機を乗り越えてきた資本主義は再び輝
きを取り戻せるのか。成長の未来図を描き直す時期に



来ている。

世界の資本主義は歴史的に何度も危機に見舞われた。初めは1929年の米株価暴落を引き金とする大恐慌だ。英経済学者ケインズの理論に沿って「大きな政府」が必要を作り出し、景気を刺激する方法で乗り切った。

米国とソ連の対立を軸とする冷戦期に「第2の危機」に襲われる。財政膨張や過度な規制など「大きくなりすぎた政府」が経済の活力を奪い、ベトナム戦争など共産主義勢力に対抗するコストが資本主義の疲弊に拍車をかけた。新自由主義が登場し、レーガノミクスやサッチャリズムの「小さな政府」が民間の競争を促して成長力を取り戻すと、ソ連は崩壊し民主主義に勝利をもたらした。

いま直面するのが「第3の危機」だ。過度な市場原理主義が富の偏在のひずみを生み、格差が広がる。格差は人々の不満を高め、それが民主主義の危機ともいわれる状況を生み出した。資本主義と民主主義の両輪がうまく回らなくなり、世界では中国を筆頭とする権威主義が台頭する。

混沌とする世界で日本は生き残れるのか。現状は心もとない。GDP成長率は年平均0.7%と北欧を下回るのに、ジニ係数は0.33と北欧より高く、幸福度は低い。「何度も聞かれてバカバカしい」「私は好奇心にフタをしています」将来の夢を聞くと、こう答える若者が多い。ときに「ドリハラ（ドリームハラスメント）だ」と不快感を示す。（中略）バブル崩壊から30年、日本経済は低空飛行が続く。雇用の安全を重視しすぎた結果、挑戦の機会を奪われた働き手はやる気を失う。行き過ぎた平等主義が成長の芽を摘み、30年間も実質賃金が増えない「国民総貧困化」という危機的状況を生み出した。

それなのに民間企業を縛る多くの規制が温存され、社会保障改革の遅れで財政膨張にも歯止めをかけられない。日本は世界から周回遅れで「第2の危機」にはまり込んだままだ。北欧のフレキシキュリティーと比べれば、安全性はあっても柔軟性が決定的に欠ける。この弱点の改革にこれから進むべき道がある。

以上、記事の一部を紹介させて頂いた。資本主義が難しい局面に立っており、大企業に世界の富が集中している状況の中で、我々中小企業も如何に柔軟に安全に物事を進めていくか、そもそもの資本主義がどう進んでいくのかということについて考えを巡らせていかなければならないのではないかと感じた。

少し硬い話になってしまったが、これをもってご挨拶とさせて頂く。ありがとうございました。

乾杯のご発声

<野口洋司会員>

あけましておめでとうございます。本日1月7日は七草の日で、正月に暴飲暴食された皆様は七草粥を食べて胃を癒して頂いたことと思う。

昨年7月に出港した森川丸はコロナという荒波に向かいながらコロナに勝つ事業を進めて頂いたと思う。本当にご苦労様でした。これから後半を迎えるが、会長の指導



力によって6月まで無事到達できるよう皆様方のご協力をお願いし、そして本日お集まり頂いた皆様方のご健康を祈念し、乾杯をさせて頂く。乾杯！

～新春書き初め大会～



<書道同好会 井上輝好会員による講評>

【例会ご案内】

3月25日（金）
休会

4月3日（日）《第1例会》

地区大会 本会議

担当：出席・ニコニコ箱・ソング委員会

※4月1日（金）は、例会はございません。

【同好会】

書道同好会
未定

【RAC 例会】

〔榎原オークホテルにて、午後7時30分～9時〕

3月19日（土）《第2例会》

奈良ゾーン合同例会

13:00～15:00、於：大和高田市立武道館

4月13日（水）《第1例会》

クラブ③

※卓話資料はデータでの提出をお願い致します。